

Spot インターホン(電話式) XDS-01 シリーズ 取扱説明書

Ver215 AGOA30

<目次>

1. 概要	2
2. システム構成図	2
3. 名称	3
4. 同梱品	3
5. 携帯電話の配置	3
6. 準備	4
7. 来客の呼び出しに应答する	6
8. インターホンへ電話をかけて設定する	7
8-1. 電話番号の登録	8
8-2. 電話番号の削除	8
8-3. 電話番号の確認	8
8-4. 解錠番号の登録	9
8-5. ダイヤル方式の設定	9
8-6. オンライン着信時間の設定	9
8-7. リトライ呼出機能の設定	10
8-8. 入館センサ制御	11
8-9. パスワードの設定	11
9. 登録ボタンで設定する	12
9-1. 電話番号の登録・削除	13
9-2. ダイヤル方式の設定	13
9-3. 極性反転の設定	13
9-4. 電話番号の登録・削除（拡張ユニット）	14
9-5. 確認	15
10. BLUETOOTH 検索	15
11. 拡張ユニットを接続する	16
11-1. システム構成図（拡張ユニット）	16
11-2. 来客の呼び出しに应答する（拡張ユニット）	17
12. 仕様一覧	18
13. カスタマイズ	18
14. 使用上の注意	18

1. 概要

本装置は、電話回線又は携帯電話から発信して使用するインターホンです。
呼び出し先が一か所のみのスモールオフィスや施設で使用します。

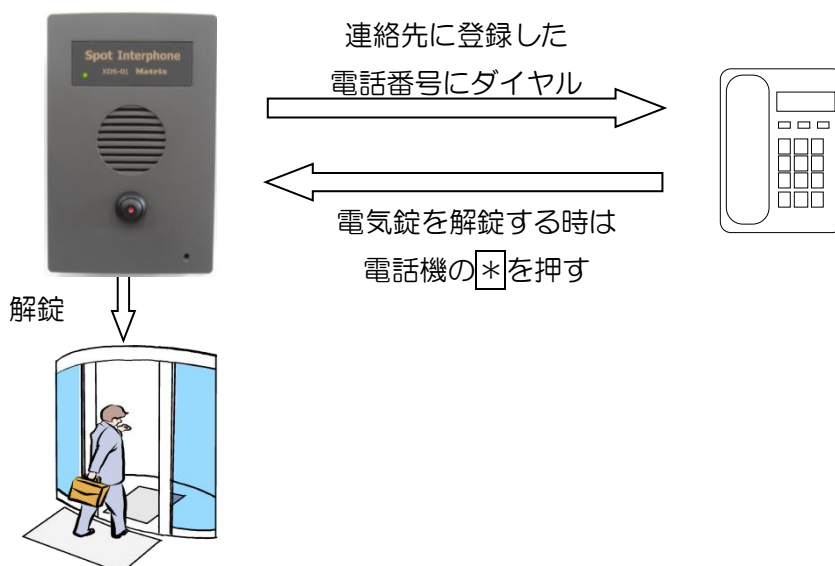
別売の拡張ユニット（タッチパネル）を接続すると、呼び出し先の登録が 9 か所まで可能になります。拡張ユニットは 2 台まで追加可能です。

拡張ユニット接続時の機能については、**11.拡張ユニットを接続する**を参照して下さい。

通常のインターホンと違い、次の機能を有しています。

- 来客の呼び出しは電話回線を通して電話機にかかります。
来客と通話中に電話機で*ボタンを押すと電気錠を解錠します。
携帯電話にかける事もできますので、不在時にも対応することができます。
- インターホンの設置場所に電話回線が引いていない場合は、携帯電話とインターホンを BLUETOOTH 接続してダイヤルすることができます。
また、携帯電話の契約を、かけ放題プランにすると通話料を一定にする事ができます。
- 電話番号の登録方法は 2 通りあります。
インターホンへ電話をかけて登録する方法と、フロントパネルを外してボタン操作で登録する方法です。
遠隔地からも操作可能な為、すぐに設定を変更することができます。
- 電話機でインターホンに対応するため、専用インターホン端末を準備する必要がなく、後付でも低価格で容易に設置できます。
- インターホンという性質上、通話時間はあまり長くなく、通話料はそれほどかかりません。また通話時間の制限をかけることができます。

2. システム構成図

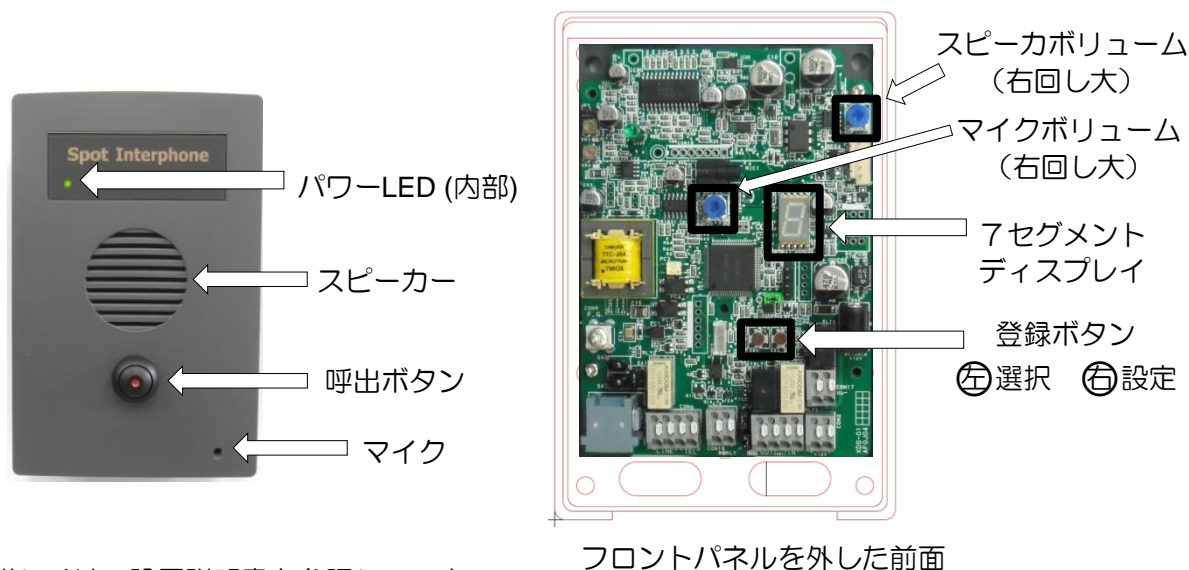


電話回線を準備できない場合は、携帯電話を BLUETOOTH（無線通信）で接続して電話を掛けることができます。（BLUETOOTH ユニット付のみ）

携帯電話とインターホンを接続する方法は、**10.BLUETOOTH 検索**を参照して下さい。

拡張ユニット接続時のシステム構成図は、**11-1.システム構成図（拡張ユニット）**を参照して下さい。

3. 名称



詳しくは、設置説明書を参照して下さい。

4. 同梱品

同梱品としては以下のものが同梱されています。ご確認ください。

- 本装置 1台
- AC アダプタ 1個
- 取扱説明書 1冊（本誌）
- 設置説明書 1冊

5. 携帯電話の配置

インターホンを携帯電話と接続して使用する場合（BLUETOOTH ユニット付のみ）は、インターホンと携帯電話を 10 センチ以上離して置いて下さい。

インターホンと携帯電話が近すぎると、通話中にハウリングを起こして聞こえづらくなります。通信可能範囲は、3メートルです。



6. 準備

インターホンの使用を開始する前に、呼出ボタンを押した時にダイヤルする電話番号の登録やダイヤル方式の設定等を行います。

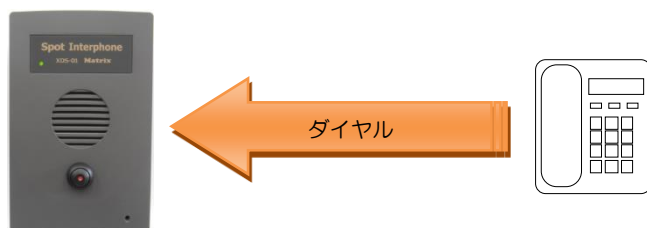
登録する方法は2つあります。

インターホンが電話回線とつながっている場合は、インターホンへ電話をかけて設定します。

インターホンが電話回線とつながっていない場合は、登録ボタンで設定します。

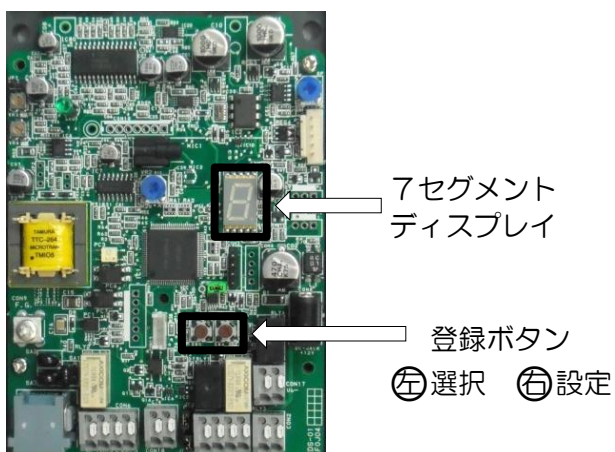
① インターホンへ電話をかけて設定する

8.インターホンへ電話をかけて設定するを参照して操作して下さい。



② 登録ボタンで設定する

9.登録ボタンで設定するを参照して操作して下さい。



設定方法によって、設定できる項目は下記ようになります。

設定	①インターホンへ電話を かけて設定する	②登録ボタンで設定する
電話番号の登録	○	○
電話番号の削除	○	○
電話番号の確認	○	○
解錠番号の登録	○	×
ダイヤル方式の設定	○	○
オンライン着信時間の設定	○	×
リトライ呼出機能の設定	○	×
入館センサ制御	○	×
パスワードの設定	○	×
極性反転の設定	×	○

7. 来客の呼び出しに应答する

来客が呼出ボタンを押すと、「ピンポン」と音がして登録した電話番号にダイヤルします。

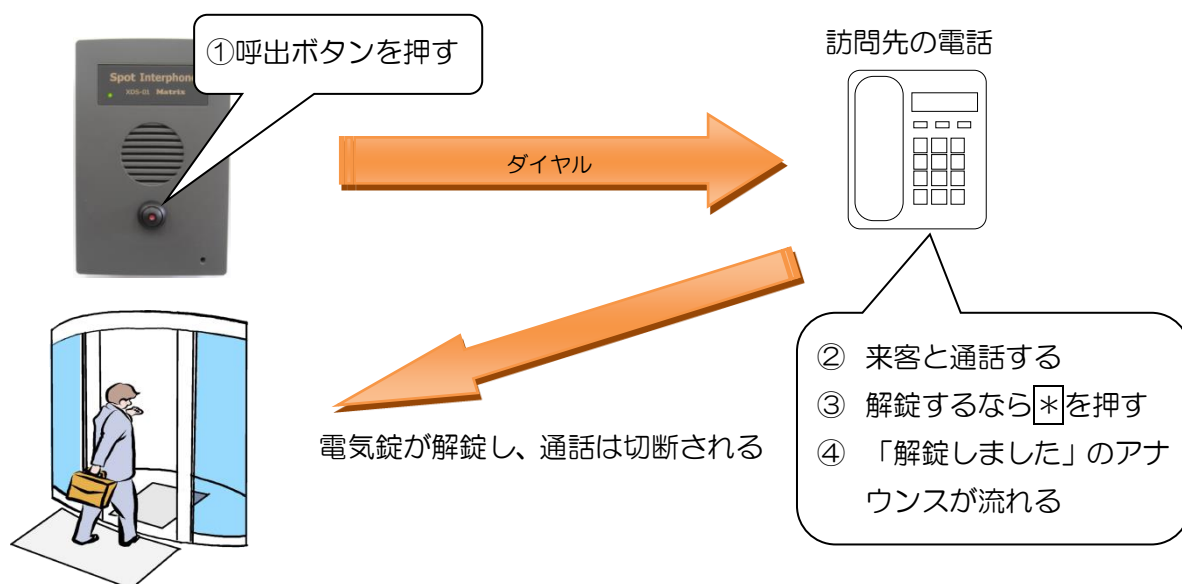
呼出ボタンは高速点滅(1秒に約7回)します。

電話を取ると、「ピンポン・ピンポン」と音が鳴ってから、来客とインターホンを通して通話することができます。

呼出ボタンは低速点滅(1秒に約3回)します。

通話中に電話機で[*]ボタンを1秒程度押しと電気錠を解錠します。

電話が切れると、呼出ボタンは通常の点灯に戻ります。



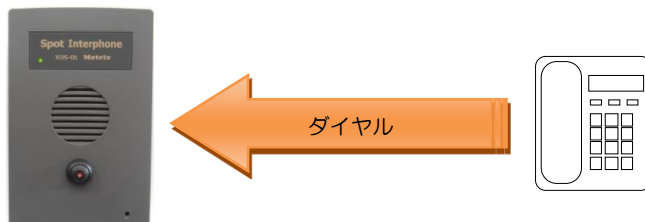
- 呼び出し中にもう一度呼出ボタンを押すと、呼び出しは取り消されます。
- 訪問先が60秒間電話に出ないと、呼び出しは取り消されます。
- 操作する電話機がトーンダイヤルで無い場合は[*]を押してトーン信号がでるようにしてから[*]を押してください。

拡張ユニット接続時の、来客の呼び出しに应答する方法は、**11-2.来客の呼び出しに应答する(拡張ユニット)**を参照して下さい。

8. インターホンへ電話をかけて設定する

インターホンが接続されている電話回線に電話を掛けて、遠隔設定を開始します。

- ① インターホンが接続されている電話回線に電話をかけます。



- ② 「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れ、呼出ボタンが低速点滅(1秒に約3回)します。

パスワードと#を押します。

[パスワード][#]

工場出荷時は、パスワードに「****」が設定されています。

パスワードを変更していない場合は、「****#」を押します。

- ③ パスワードが認証されると「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
サービスコードを入力して設定内容を変更します。
パスワードの認証を3回間違えると通話を切断します。

設定内容によって下記の操作を行って下さい。

設定	サービスコード	参照
電話番号の登録	1#1#電話番号# <拡張ユニット接続時> 1#呼出番号#電話番号#	8-1. 電話番号の登録
電話番号の削除	2#1# <拡張ユニット接続時> 2#呼出番号#	8-2. 電話番号の削除
電話番号の確認	3#1# <拡張ユニット接続時> 3#呼出番号#	8-3. 電話番号の確認
解錠番号の登録	4#ナンバー#解錠番号#	8-4. 解錠番号の登録
ダイヤル方式の設定	5#ダイヤル方式#	8-5. ダイヤル方式の設定
オンライン着信時間の設定	6#着信時間(秒)#	8-6. オンライン着信時間の設定
リトライ呼出機能の設定	7#	8-7. リトライ呼出機能の設定
入館センサ制御	8#	8-8. 入館センサ制御
パスワードの設定	2324#パスワード#	8-9. パスワードの設定

10秒以上設定を行わないと「ブー」という警告音とともに電話が切れます。
設定した番号と「よろしければ1を間違っていれば0を押して下さい」の音声がかかります。
設定内容が間違っていなければ、「1」を押して下さい。
「設定しました」の音声を確認できたら電話を切ります。
設定が完了すると呼出ボタンは通常の点灯に戻ります。

インターホンを電話機やFAXと併設して使用する場合は、インターホンが先に着信するのを防ぐ為に **8-6.オンライン着信時間の設定**や **8-6.リトライ呼出機能の設定**を参照して設定を変更して下さい。

8-1. 電話番号の登録

インターホンの呼出ボタンを押した時にダイヤルする電話番号を登録します。

サービスコード：[1][#][1][#][電話番号][#]

<拡張ユニット接続時>

サービスコード：[1][#][呼出番号][#][電話番号][#]

[呼出番号]：1～9の数字（拡張ユニット1台目）

11～19の数字（拡張ユニット2台目）

8-2. 電話番号の削除

登録済みの電話番号を削除します。

サービスコード：[2][#][1][#]

<拡張ユニット接続時>

サービスコード：[2][#][呼出番号][#]

[呼出番号]：1～9の数字（拡張ユニット1台目）

11～19の数字（拡張ユニット2台目）

8-3. 電話番号の確認

登録されている電話番号を読み上げます。

サービスコード：[3][#][1][#]

<拡張ユニット接続時>

サービスコード：[3][#][呼出番号][#]

[呼出番号]：1～9の数字（拡張ユニット1台目）

11～19の数字（拡張ユニット2台目）

8-4. 解錠番号の登録

解錠番号を登録しておく、インターホンに電話を掛けて解錠番号を入力して電気錠を解錠することができます。

解錠番号は3個まで設定可能で「1」～「65535」の数字を登録することができます。解錠番号の1個目に「65535」を登録すると、インターホンに電話を掛けると、着信と同時に電気錠を解錠させる事ができます。

登録した解錠番号を取り消す場合は「0」を設定して下さい。

【注】パスワードと同じ番号を設定することはできません。

サービスコード：[4][#][ナンバー][#][解錠番号][#]

[ナンバー]：解錠番号1個目の登録は「1」

解錠番号2個目の登録は「2」

解錠番号3個目の登録は「3」

[解錠番号]：0～65535の数字

【例】1個目の解錠番号を「1234」に設定する場合

4#1#1234

<インターホンへ電話を掛けて解錠する方法>

- ① インターホンが接続されている電話回線に電話をかけます。
- ② 「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
解錠番号と#を押すと、電気錠が解錠し通話は切断します。

[解錠番号][#]

8-5. ダイヤル方式の設定

ダイヤル方式を設定します。

工場出荷時は、トーン信号の「0」が設定されています。（通常はトーン信号）

サービスコード：[5][#][ダイヤル方式][#]

[ダイヤル方式]：0・・・トーン信号

1・・・パルスダイヤル

【例】ダイヤル方式にトーン信号を設定する場合

5#0#

8-6. オンライン着信時間の設定

インターホンに電話を掛けて設定する時に、インターホンが着信するまでの時間を変更します。

初期設定は、6秒に設定されています。

インターホンと電話機やFAXを併設している場合に、着信を遅らせたい時に設定して下さい。

い。併設した電話機で受話器を取る前に、インターホンが着信するのを防ぎます。

※電話回線がナンバーディスプレイ対応の場合は6秒以上に設定して下さい。

サービスコード：[6][#][着信時間(秒)][#]

[着信時間(秒)]：1～99の数字

【例】着信時間に30秒を設定する場合

6#30#

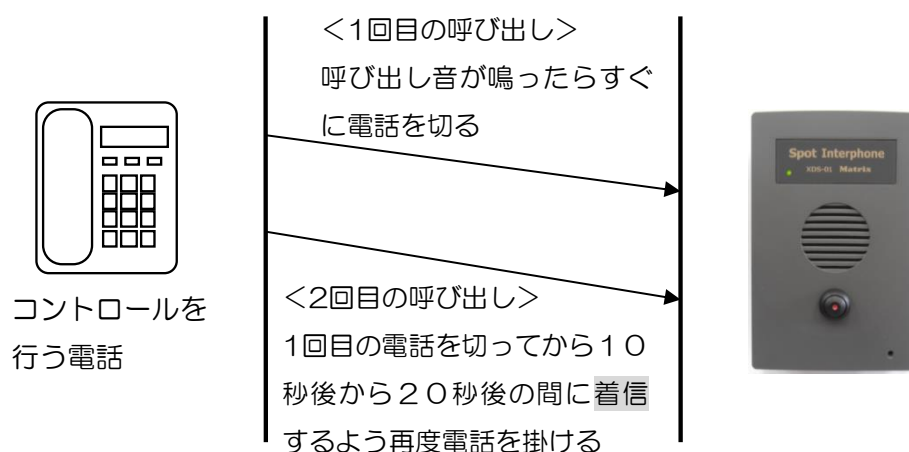
8-7. リトライ呼出機能の設定

リトライ呼出機能は、インターホンを電話機やFAXと併設している場合に設定します。電話を掛けてすぐに電話を切って、もう一度電話をかけたときに、インターホンが応答し遠隔操作が可能となります。

リトライ呼出機能を設定すると、通常の呼び出しではインターホンは応答しません。

1回目の電話を切ってから10秒後から20秒後の間に着信するように2回目の電話を掛けて下さい。

1回目の電話を切ってから5秒程度待ってからダイヤルすると、着信が10秒後から20秒後になりやすいです。（電話回線により待ち時間は変動します）



サービスコード：[7][#][1][#]

※ナンバーディスプレイサービスを行っている電話回線では使用できません。

リトライ呼出のタイミングがうまく行えない場合は、インターホンに電話を掛けて呼出音が鳴っている間に、インターホンの呼出ボタンを長押しすると、インターホンが着信して設定を開始する事ができます。

<リトライ呼出機能を解除する方法>

サービスコード：[7][#][0][#]

8-8. 入館センサ制御

本装置によるオートロック（入館制限）を止めたい時は、下記のコマンドで入館センサを有効にできます。

この場合、電気錠が人を感知すると解錠します。

※入館センサを有効にしても、本装置の電源をオフすると入館センサは無効になります。

＜入館センサ有効＞

サービスコード：[8][#][1][#]

＜入館センサ無効＞

サービスコード：[8][#][0][#]

8-9. パスワードの設定

パスワードを設定します。工場出荷時は、パスワードに「****」が設定されていますが、セキュリティ上変更する事をお勧めします。

サービスコード：[2324][#][パスワード][#]

[パスワード]：4～8桁の数字

サービスコードの入力後に、間違い防止の為「もう一度パスワードを入力してください。」の音声ガイダンスが流れます。もう一度パスワードを入力して下さい。

[パスワード][#]

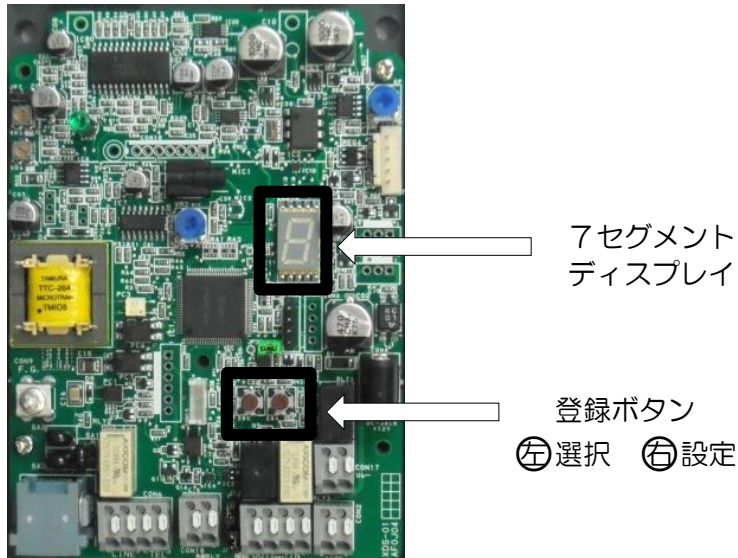
【例】パスワード「0000」を設定する場合

- ①「サービスコードをどうぞ」 → 2324#0000#
- ②「もう一度パスワードをどうぞ」 → 0000#

9. 登録ボタンで設定する

インターホンが電話回線とつながっていない場合は、フロントパネルを外して登録ボタンを操作して設定します。

左ボタンは選択する時に押します。右ボタンは設定する時に押します。



<設定を開始>

右ボタンを押すと7セグメントディスプレイ（以下ディスプレイと記載）に「1」が点滅して設定を開始します。

<メニューの選択>

メニューの選択は数字を設定して行います。

- ①：電話番号の登録・削除
- ②：ダイヤル方式の設定
- ③：極性反転の設定
- ④：電話番号の登録・削除（拡張ユニット）
- ⑤：確認
- ：終了

ディスプレイに数字が点滅している状態で左ボタンを押すと、①→②→③→④→⑤→□→①→②・・・と数字が順番に変わります。

右ボタンを押すと、その時ディスプレイに表示されている数字が設定され、メニューが選択されます。

□を選択すると、操作は終了します。

ボタン操作が30秒間ない場合も自動的に終了します。

各メニューの操作が完了すると、メニューの選択に戻りディスプレイの数字が点滅します。

【例】ダイヤル方式の設定を開始する場合

- ① **右**ボタンを1回押して、メニュー選択 (**1**が点滅) を開始
- ② **左**ボタンを1回押すと**2**が点滅
- ③ **右**ボタンを1回押して選択
- ④ ダイヤル方式の設定を開始

9-1. 電話番号の登録・削除

インターホンの呼出ボタンを押した時にダイヤルする電話番号を登録します。

登録した電話番号を削除する場合も同じメニュー番号で設定します。

拡張ユニットを接続している場合は、**9-4. 電話番号の登録 (拡張ユニット)**を参照して下さい。

※拡張ユニット接続時に、この操作を行った場合は、呼出番号 **1** をタッチした時にダイヤルする電話番号が登録・削除されます。

<電話番号の登録>

- ① メニュー**1**を設定すると**F**が表示されます。
- ② 電話番号を設定します。
左ボタンを押す度に数字が**0**→**1**→**2**→・・・→**9**→**F**と増えます。
 電話番号の1桁目の数字が表示されている時に**右**ボタンを押して決定すると**F**が表示されます。
- ③ 続けて2桁目以降の番号も設定します。②の操作を最後の桁まで繰り返します。
- ④ 最後の桁まで設定して**F**が表示されている時に**右**ボタンを押すと電話番号が登録されます。

<電話番号の削除>

- ① メニュー**1**を設定すると**F**が表示されます。
- ② **右**ボタンを押すと電話番号が削除されます。

9-2. ダイヤル方式の設定

ダイヤル方式を設定します。

工場出荷時は、トーン信号の「0」が設定されています。(通常はトーン信号)

- ① メニュー**2**を設定すると**0**が高速点滅します。
- ② ダイヤル方式を設定します。
左ボタンを押す度に数字が**0**↔**1**と変わります
 トーン信号の時は**0**、パルスダイヤル (20PPS) の時は**1**を表示して、**右**ボタンを押して決定します。

9-3. 極性反転の設定

通常の電話回線は、ダイヤルした相手が応答・切断した時に、電話回線の極性を反転して

通知します。（極性反転有り）

しかし、内線電話などにはこの機能がありません。（極性反転無し）

その為、極性反転が無い電話回線は、呼出ボタンを押したらすぐに通話状態となり、相手の切断は話中音（プープー音）で検出する事ができます。

工場出荷時は、極性反転有りの「0」が設定されています。

① メニュー $\boxed{3}$ を設定すると $\boxed{0}$ が高速点滅します。

② 極性反転を設定します。

$\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押す度に数字が $\boxed{0} \leftrightarrow \boxed{1}$ と変わります

極性反転有りの時は $\boxed{0}$ 、極性反転無しの時は $\boxed{1}$ を表示して、 $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押して決定します。

9-4. 電話番号の登録・削除（拡張ユニット）

拡張ユニットを接続している場合の、呼出番号 $\boxed{1} \sim \boxed{9}$ をタッチした時に呼び出す電話番号を登録します。

登録した電話番号を削除する場合も同じメニュー番号で設定します。

※拡張ユニットの2台目（呼出番号 $\boxed{11} \sim \boxed{19}$ ）を押した時に呼び出す電話番号の登録・削除は、インターホンへ電話をかけて設定して下さい。（ $\boxed{8}$.インターホンへ電話をかけて**設定する**を参照）

<電話番号の登録>

① メニュー $\boxed{4}$ を設定すると \boxed{C} が表示されます。

② $\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押すと、呼出番号の選択を開始して $\boxed{1}$ が表示されます。

③ 呼出番号を設定します。

$\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押す度に数字が $\boxed{1} \rightarrow \boxed{2} \rightarrow \dots \rightarrow \boxed{8} \rightarrow \boxed{9}$ と増えます。

呼出番号が表示されている時に $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押して決定すると \boxed{F} が表示されます。

④ 電話番号を設定します。

$\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押す度に数字が $\boxed{0} \rightarrow \boxed{1} \rightarrow \boxed{2} \rightarrow \dots \rightarrow \boxed{9} \rightarrow \boxed{F}$ と増えます。

電話番号の1桁目の数字が表示されている時に $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押して決定すると \boxed{F} が表示されます。

⑤ 続けて2桁目以降の番号も設定します。④の操作を最後の桁まで繰り返します。

⑥ 最後の桁まで設定して \boxed{F} が表示されている時に $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押すと電話番号が登録されます。

<電話番号の削除>

① メニュー $\boxed{4}$ を設定すると \boxed{C} が表示されます。

② $\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押すと、呼出番号の選択を開始して $\boxed{1}$ が表示されます。

③ 呼出番号を設定します。

$\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押す度に数字が $\boxed{1} \rightarrow \boxed{2} \rightarrow \dots \rightarrow \boxed{8} \rightarrow \boxed{9}$ と増えます。

呼出番号が表示されている時に $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押して決定すると \boxed{F} が表示されます。

④ $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押すと、選択した呼出番号の電話番号が削除されます。

9-5. 確認

登録内容を確認する事ができます。

① メニュー $\boxed{5}$ を設定すると $\boxed{1}$ が高速点滅します。

② 登録内容の確認は数字を設定して行います。

$\boxed{1}$ ：電話番号の確認（拡張ユニットに接続している場合は呼出番号 $\boxed{1}$ のみ）

$\boxed{2}$ ：ダイヤル方式の確認

$\boxed{3}$ ：極性反転の確認

$\boxed{\leftarrow}$ ボタンを押す度に数字が $\boxed{1} \rightarrow \boxed{2} \rightarrow \boxed{3}$ と変わります。

確認する数字が表示されている時に $\boxed{\rightarrow}$ ボタンを押して決定すると、ディスプレイに設定内容が表示されます。

確認表示が完了すると $\boxed{5}$ が点滅して、メニュー選択に戻ります。

10. BLUETOOTH 検索

インターホンを携帯電話と接続して使用する場合は、BLUETOOTH（無線通信）で接続します。（BLUETOOTH ユニット付のみ）

BLUETOOTH で接続するには、携帯電話とインターホンで同時にデバイスの検索を行いペアリングします。

ペアリングが完了すると、インターホンから電話を掛ける事ができます。

携帯電話を交換した場合も、この操作が必要となります。

ペアリングができている場合は、パワーLED で緑が2回点滅するのを繰り返します。

ペアリングができていない場合は、パワーLED で赤と緑が同時に点灯した後、赤が2回点滅するのを3回繰り返します。

また、呼出ボタンを押したときに、音声で「電話線設定されていません」と流れます。

【例】以下は BLUETOOTH を検索する場合の操作手順です。

① 呼出ボタンを10秒以上押しと、呼出ボタンが高速点滅(1秒に約7回)します。

10秒以内にもう一度呼出ボタンを押すと、インターホンはペアリング待機状態となり、ボタンが低速点滅(1秒に約3回)します。

② 携帯電話側で、BLUETOOTH で接続可能なデバイスの検索を開始して下さい。

携帯電話ごとにペアリング操作は異なります。

携帯電話の取扱説明書を参照して操作して下さい。

インターホンが検索されると、デバイス名には「MTRX」と表示されます。

インターホンのデバイスを選択してペアリングを行って下さい。

【注】携帯電話とのタイミングが合わずにデバイス検索を行っても、インターホンのデバイス名が表示されない場合があります。

その場合は、①～②の処理を何度か繰り返して下さい。

11. 拡張ユニットを接続する

別売の拡張ユニットを接続すると、呼び出し先の登録が9か所まで可能になります。

拡張ユニットは2台まで追加可能です。

拡張ユニットを2台設置した場合は呼び出し先の登録が18か所になります。

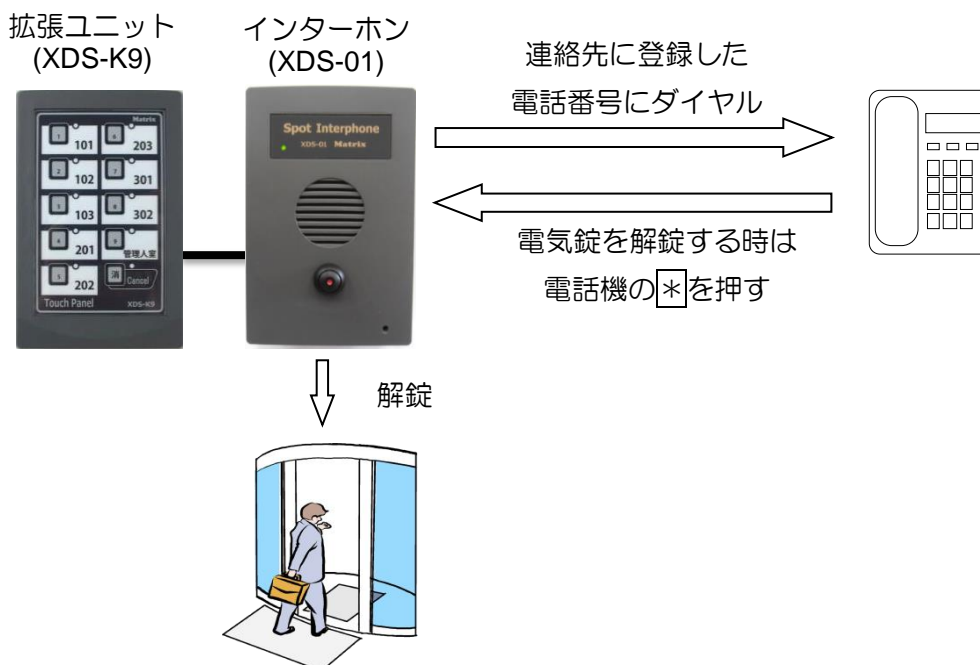


拡張ユニット
(XDS-K9)

呼び出す時は、タッチパネルの呼出番号をタッチして下さい。

電話番号を登録する時は、この呼出番号に対応した電話番号を登録します。

11-1. システム構成図（拡張ユニット）



電話回線を準備できない場合は、携帯電話を BLUETOOTH（無線通信）で接続して電話を掛けることができます。（BLUETOOTH ユニット付のみ）

携帯電話とインターホンを接続する方法は、**8. BLUETOOTH 検索**を参照して下さい。

11-2. 来客の呼び出しに应答する（拡張ユニット）

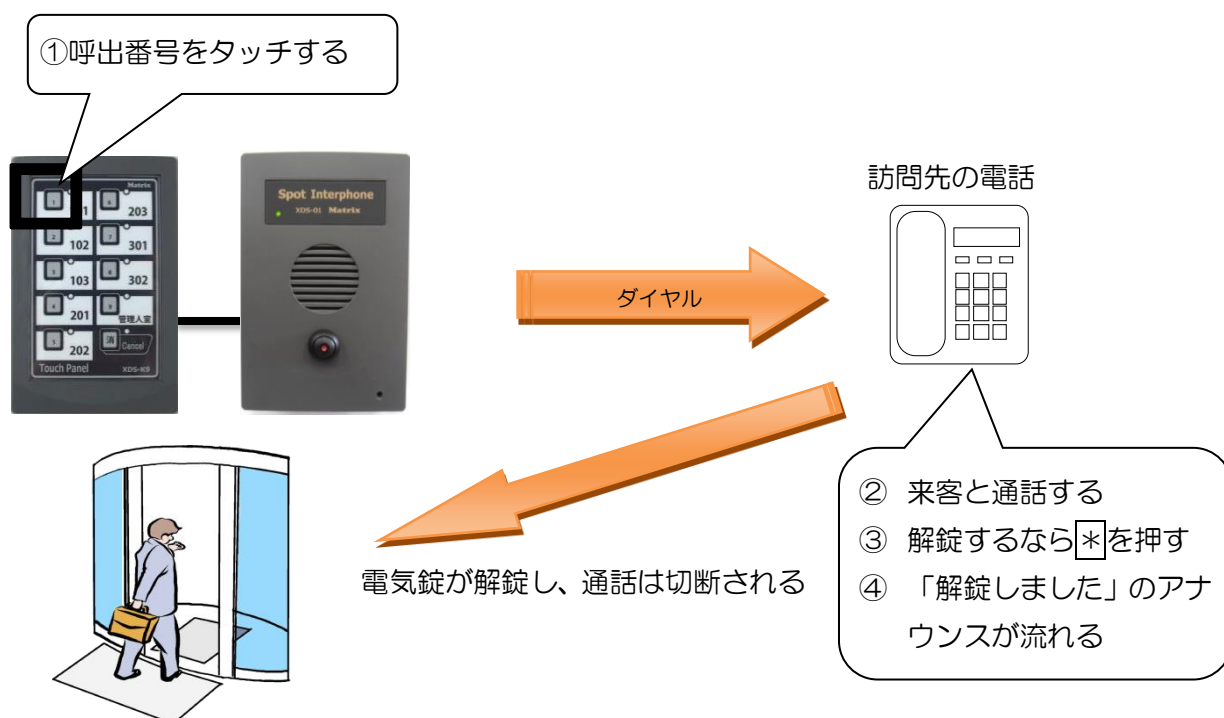
来客が呼出番号をタッチすると「ピンポン」と音がして、登録した電話番号にダイヤルします。

タッチした呼出番号が点滅します。

電話を取ると、「ピンポン・ピンポン」と音が鳴ってから、来客とインターホンを通して通話する事ができます。

通話中に電話機で[*]ボタンを 1 秒程度押すと電気錠を解錠します。

電話が切れると、呼出番号は消灯します。



- 呼び出し中に[消]をタッチするか、いずれかの呼出番号をタッチすると、呼び出しは取り消されます。
- 訪問先が 60 秒間電話に出ないと、呼び出しは取り消されます。
- 操作する電話機がトーンダイヤルで無い場合は[*]を押してトーン信号がでるようにしてから[*]を押してください。

12.仕様一覧

項目	内容	備考
電源電圧	AC100V (50Hz 60Hz) ACアダプタ出力 12V	ACアダプタケーブル 1.5m
消費電力	1W (TYP) 最大 2W	
リレー接点出力端子	2	
リレー接点出力定格	最大 24V 1A	絶対に定格を超えないでください。
設定方式	<ul style="list-style-type: none"> ・電話をかけたトーン信号で設定 ・7セグメントディスプレイ ・シリアル 	
制御方式	電話をかけたトーン信号で設定	音声ガイダンスあり
回線直流抵抗値	197Ω	
使用環境	温度 0～40℃ (湿度 20～80%)	ただし結露なきこと
サイズ (W×H×D mm)	100×152×46mm	ねじ突起物を含まず
質量	350g	オプション含まず

13.カスタマイズ

音声ガイダンス、プログラムはお客様のご要望に従い、有償で変更可能です。
ご相談ください。

14.使用上の注意

- 本装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある状態で使用する事はおやめください。
- リレー接点出力の最大定格は 24V 1A です。これを超える装置又は回路への接続はおやめください。最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- 本装置は電子回路を使用しております。屋外および日光が直接当たる所での使用はなるべく控えてください。
- 本装置は通常の電子回路で構成されています。場合によっては故障する場合があります。従って本装置の故障および不具合によって発生したいかなる責務も当社はその責を免れるものとします。

マトリックス電子株式会社

フリーダイヤル：0120-967-232

ホームページ www.mtrx.jp

Eメール mail@mtrx.jp